

# 阪堺線支援策の 中間検証について

## ■検証の目的

阪堺線への補助実施による効果や存続したことによる効果などの検証を行うことで5年間の総括を行い、残り5年間の支援の方向性を検討することを目的とする。

## ■検証方法

堺市が京都府立大学公共政策学部の川勝准教授にアドバイスをいただきながら検証作業を進める。

※川勝准教授は、公営路面電車事業の経営実態に関する調査等を行っており、路面電車の経営に関して多くの知見を有している。

また、本市の堺市公有財産有効活用懇話会の委員をしていただいている。

### ○中間検証と阪堺線活性化推進懇話会との役割分担

中間検証は、懇話会委員以外の第三者からアドバイスを頂きながら作業を進める。

懇話会には、状況を順次報告し、議論を頂く。

## ■検証作業のスケジュール

平成26年度より中間検証作業を開始する。

## ■検証のポイント

- ①支援策実施後の阪堺線による利用者への便益
- ②支援策開始後の堺の経営状況の考察
- ③堺市への間接効果

## ①活性化策の実現度

- ・ 支援策前に募集した市民提案との比較

## ②阪堺線の安全性の向上

- ・ 軌道更新
- ・ 車両更新
- ・ 設備等の更新

## ③阪堺線の利用者及び経営状況

### ○阪堺線利用の状況分析

#### ■支援策前と支援策後の利用状況を分析

- ・ 通勤・通学目的での利用状況
- ・ 定期外での利用状況
- ・ 堺市内区間での乗降状況

#### ■乗降の多い停留場について分析

#### ■支援策後の乗降が増えた停留場について分析

### ○経営改善効果

#### ■支援策前と支援策後との比較を行う

- ・ 収支バランス
- ・ 収入と作業量
- ・ 支出と作業量
- ・ 営業費以外の費用

#### ■支援策事業の財源構成

#### ■支援策後の経営評価

- ・ 収入構造の変化
- ・ 支出構造の変化

#### ④堺市の活性化への寄与

##### ■支援策に関する市民意見の集約

##### ■阪堺線への投資による堺市への波及効果

- ・堺市のプロモーション効果
- ・阪堺を絡めたイベントによる地域活性効果

#### ⑤他の路面電車事業者との比較

##### ○阪堺と公の支援を受けている他事業者との比較

- ・支援策による活性化の状況
- ・公の支援策の状況比較